



TOHOKU
UNIVERSITY

理系PIをめざすための準備プログラム

産学連携 / 理系ラボ主宰者に求められる知財戦略

vol.15

TOPIC

研究成果の創出と 知財化の両方を、 適切に達成し、 活用するPI像、 ラボ運営とは？

SPEAKER

水田 貴信

Takanobu MIZUTA

東北テクノアーチ代表取締役社長

VENUE/DATE

東北大学川内北キャンパス 教育・学生総合支援センター4階 大会議室

2025.5.17 sat.10:00-12:00

対面／オンデマンド受講どちらでも可

研究、教育に加え、大学は社会貢献という使命を担っています。研究を使命とする大学ならではの社会貢献の方法の1つが、研究成果の社会実装、産学連携による研究成果の事業化です。イノベーションの創出が今までも、これからも待望されるなか、研究成果が、研究室が、大学が、イノベーションへの源泉として社会から大きく期待される時代は続きます。優れた研究成果を生み続け業績とすることと、知財として適切に保護し社会での活用に供する技術となすことの両方を、適切に達成する研究マネジメントとは？ラボ運営に資するメリットを、産学連携へのコミットメントの中でいかに研究成果、研究力、価値をアピールして享受していくか？PIに期待するラボ運営力を、研究成果のライセンス業務の前線に立つ立場から、ディスカッションを交えお話いただきます。